

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名 一般国道475号東海環状自動車道 （北勢～四日市）	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中部地方整備局																					
起終点 自：三重県いなべ市北勢町阿下喜 至：三重県四日市市北山町		延長 14.4 km																					
事業概要 東海環状自動車道は、名古屋市の周辺30～40km圏に位置する四日市市、大垣市、岐阜市、瀬戸市、豊田市等の諸都市を連絡する延長160kmの自動車専用道路です。 このうち北勢～四日市間は、東海環状自動車道のうち、三重県いなべ市北勢町から四日市市間を連絡する区間に位置する延長14.4kmの道路です。																							
H 2 年度事業化 H 3 年度都市計画決定 H 5 年度用地着手 H 9 年度工事着手																							
全体事業費 約1540億円 事業進捗率 24% 供用済延長 - km																							
計画交通量 20,100台/日																							
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">B / C</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">798 / 1051億円</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1276 / 1276億円</td> <td></td> <td style="text-align: center;">平成17年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">(事業費：708/961億円) 維持管理費：90/90億円</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益：1192/1192億円) 走行費用減少便益：59/59億円 交通事故減少便益：26/26億円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	B / C		総費用		総便益		基準年	(事業全体)	1.2	798 / 1051億円		1276 / 1276億円		平成17年	(残事業)	1.6	(事業費：708/961億円) 維持管理費：90/90億円		(走行時間短縮便益：1192/1192億円) 走行費用減少便益：59/59億円 交通事故減少便益：26/26億円			
B / C		総費用		総便益		基準年																	
(事業全体)	1.2	798 / 1051億円		1276 / 1276億円		平成17年																	
(残事業)	1.6	(事業費：708/961億円) 維持管理費：90/90億円		(走行時間短縮便益：1192/1192億円) 走行費用減少便益：59/59億円 交通事故減少便益：26/26億円																			
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（拠点都市間の連携強化） ・物流効率化の支援（スーパー中枢港湾：名古屋港、四日市港へのアクセス強化）他13項目に該当																							
関係する地方公共団体等の意見 東海環状自動車道は、産業発展の礎となる基盤整備を進めることにより、中部圏の各地域との新たな連携軸を形成し、産業、経済、文化活動が発展していくと期待されており、「三重県北勢地域幹線道路事業促進連絡協議会」から東海環状自動車道の建設促進の要望（平成17年7月6日）を受けている。																							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・整備途上の名古屋圏環状道路 ・名古屋圏の交通状況（主要高速道路の交通量は増加傾向） ・活発化する地域経済 ・脆弱な南北軸																							
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は24%、用地取得率は89%である。用地買収および改良工事を実施中である。																							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 接続する第二名神高速道路の進捗状況に合わせ事業を進める。																							
施設の構造や工法の変更等 新技術・新工法の適用や暫定施工範囲の見直しにより、コスト縮減を図る。																							
対応方針 事業継続																							
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。																							
事業概要図																							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。